

2021 年国際会議統計調査について

【目次】

1. 調査対象となる国際会議	2
2. 国際会議統計の選定基準	3
3. 「2021 年国際会議統計調査票」の記入方法	5
4. 「2021 年国際会議統計調査票」の提出方法	10
5. 国際会議統計調査の流れ	10

注： リモートによる外国人参加のある国際会議について

・新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延に伴いオンラインやテレビ会議等のリモート形態での会議が増加していることに鑑み、2021 年も引き続き上記形態による外国人参加があった会議について、その数値を外数としてご記入ください。

(但し、JNTO 統計における定量基準は現行通りですので、実際の訪日参加者数が基準を満たさない場合は対象外となりますので、予めご理解をお願い致します。)

1. 調査対象となる国際会議

以下に該当する本邦での国際会議が今回の調査対象となります。

① 2021年1月1日から2021年12月31日までに開催または開催が予定される会議

② 2022年1月1日以降に日本での開催および開催地が決定している会議

※ 調査票エクセルファイルには別々のシートがありますので、①と②を所定シートへ記入してください。

① でご報告くださった会議は、ICCA(国際会議協会:International Congress and Convention Association)及びUIA(国際団体連合:Union of International Associations)へ各基準を満たすものを候補として情報提供するとともに「2021年国際会議統計(JNTO発行)」(以下、「JNTO統計集」という。)の候補となります。

また、「会議情報の公開可」とされた会議については、JNTO統計集やMICEウェブサイト(<http://mice.jnto.go.jp>)等への掲載候補とさせていただきます。

(P.5「会議情報の公開の可否」参照)

② でご報告くださった会議も、ICCA(国際会議協会:International Congress and Convention Association)及びUIA(国際団体連合:Union of International Associations)へ各基準を満たすものを候補として情報提供します。

また、「会議情報の公開可」とされた会議は、JNTOのMICEウェブサイト等への掲載候補とさせていただきます。(P.5「会議情報の公開の可否」参照)

<参考>

JNTO 国際会議統計の他、世界には、以下の統計もございます。

ICCA: 国際会議関連企業・政府系機関・専門家集団がまとまって設立した国際機関(本部:アムステルダム)。国際会議・行催事の開催情報の収集および発信を行うことで、世界における国際会議・行催事の開催促進を図っており、ICCA基準(2. 国際会議統計の選定基準 参照)に基づく国際会議統計を毎年5月頃に発表している。

UIA: 1907年にベルギー・ブリュッセルにおいて設立された非営利・非政府の団体。6万を超える組織団体等に関わる情報の調査・収集・分析を実施しており、その活動の一環としてUIA基準(2. 国際会議統計の選定基準 参照)に基づく国際会議統計を毎年6月頃に発表している。

2. 国際会議統計の選定基準

「JNTO 国際会議統計」における「国際会議」の定義は、以下の通りです。

「JNTO 国際会議統計」（編著・発行 日本政府観光局（JNTO））

以下の①～④を全て満たす会議を「国際会議」とします。

- ① 主催者：国際機関・国際団体(各国支部を含む)又は
国家機関・国内団体(各々の定義が明確ではないため、「公共色を帯びていない民間企業」以外は全て)
- ② 参加者総数：50名以上
- ③ 参加国数：日本を含む3居住国・地域以上
- ④ 開催期間：1日以上

上記基準に満たないものや以下のような会議は対象外となります。

<対象にならないもの>

1. 開催目的 主催団体による営利活動や内部活動としての会合や集会

- 営利活動を目的とするもの
例：企業内会議、商談、勧誘・宣伝活動(投資セミナー、観光セミナー、留学支援セミナー)
- 主催団体の内部活動
例：教育機関がカリキュラムの一環として行う授業や講義、
カルチャースクール等の教育文化活動プログラム、
団体内の研修会、宗教団体の儀式・集会・勧誘

2. 開催の様態 会議や講演会の実態がない会合や集会

- 興行上のサービス
例：コンサート、映画上映会、舞台挨拶 ※付随するトークショーも興行上のサービスとみなす。
- 単なるセレモニー
例：開会・閉会式、〇〇周年記念式典
- 上位会議の個別の分科会
例：学会開催時における個別の分科会、大規模フォーラムの個別セッション
- 単なるイベント
例：展示会、スポーツ大会、国際交流パーティー

会議情報ご提供にあたっての注意 以下の情報が不足している会議は精査の対象外となります。

- 「参加国数」、「国内参加者数」、「海外居住外国人参加者数」の内訳
(「展示会が主体となっており、その中に組み込まれている会議」においては、
展示会全体ではなく国際会議部分の上記情報)
- 一般に公開されているセミナー、シンポジウム、討論会のうち、海外に居住する
講師や参加者を招聘・募集したことを示す資料

「ICCA 国際会議統計」及び「UIA 国際会議統計」における「国際会議」の定義は、以下の通りです。

「国際会議協会(ICCA)統計」(編集・発行 ICCA)

＜国際会議の定義＞

- ① 参加者総数：50名以上
- ② 開催期間：定期的で開催(1回のみ開催した会議は除外)
- ③ 開催国について：日本を含む3カ国以上で会議のローテーションがある
(2カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外)

「国際団体連合(UIA)統計」(編集・発行 UIA)

＜国際会議の定義＞

UIAが定める国際会議は以下の2種類であり、1または2のいずれも個々の会議要件を全て満たしている必要があります。

- 1. UIAに登録されている国際機関・国際団体の本部が主催又は後援した会議
 - ① 参加国数：日本を含む3カ国以上
 - ② 開催期間：1日以上

- 2. 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議
 - ① 開催国以外からの参加者が、少なくとも総参加者の40%以上
 - ② 参加者総数：300名以上(ただし、展示会が併催されている場合は参加者総数の条件を満たすものとして扱います。)
 - ③ 参加国数：日本を含む5カ国以上
 - ③ 開催期間：3日以上

3. 「2021 年国際会議統計 調査票」の記入方法

3-1. 記入時の注意事項

- ・ 「2021 年国際会議統計調査票」には、本 3～4 ページに記載している「国際会議統計の選定基準(JNTO、UIA、ICCA)」を満たす国際会議のみをご記入ください。
- ・ 「2021 年国際会議統計調査票」には、全ての項目にご記入ください。調査票の情報項目に欠落がある会議については採用できませんので、予めご了承ください。(空欄不可)
- ・ 「2021 年国際会議統計調査票」は必ずメールで当方から送付する所定様式をご利用ください。既定の調査票に行や列を挿入したり、或いは、項目の追加や削除をしたりすると、ご提出いただいたデータを誤って取り込む(統合する)こととなりますので、フォーマットの変更は行わないでください。
- ・ 「2021 年国際会議統計調査票」の上段には、「JNTO 国際会議統計」の必須項目を水色で、「ICCA 統計」、「UIA 統計」の必須項目をオレンジ色で色付けして示しています。ご提出いただいた情報は、JNTO で ICCA 基準、UIA 基準を満たす会議であるかどうかを精査し、各機関に候補として提出します。
- ・ 国際会議・セミナー・シンポジウムなどの名称を問わず、基準に沿って幅広く調査対象としてください。但し、「展示会が併催され、その中に組み込まれている会議」を調査対象とする場合は、国際会議部分のみの参加国数・参加者数などの内訳が分かる情報をご記入ください。よって、展示会を含む全体の参加国数・参加者数は記入しないでください。参加国数・参加者数などの内訳が分からない会議は、「JNTO 国際会議統計」の基準を満たさないものとします。
- ・ 「2021 年国際会議統計調査票」にご記入いただく段階で、当該会議がまだ開催されていない場合は、予定されている範囲の情報をご記入ください。但し、参加国数・参加者数などの内訳(推計)は必ずご記入をお願いします。

3-2. 各記入欄の説明

● 会議情報の公開の可否

ご提出いただく国際会議情報について、公開が可能な場合は“○”、不可能な場合は“×”を(いずれか必ず)ご記入ください(空欄不可)。公開が可能な会議は、JNTO 統計集及び JNTO ウェブサイト等への掲載、ならびに一般メディアへの公表を予定してします。会議情報の公開が不可“×”である場合、会議の詳細について JNTO 統計集及び JNTO のウェブサイトへの掲載は行いません。但し、開催件数のカウントには含めます。また、公式ウェブサイトがある国際会議は、一般に公開されている(公表が可能な)ものとして扱います。なお、ICCA 統計、UIA 統計に認定された会議は、全て ICCA、UIA のデータベース上に公開されます。JNTO ウェブサイトにも搭載します。

● 会議名(和文)

会議の公式ウェブサイトやポスター等に掲載されている正式な会議名を省略せず記入してください。会議名が英語のみで、公式な日本語訳がない(ウェブサイトなどが英文のみで、日本語ページがない)場合は、英語名を記入してください。(英語名を和訳する必要はありません。)

- ・ 会議名が「国際シンポジウム」のみの場合は、主題を会議名に含めてください。

(記入例) 国際シンポジウム「アンデス言説をめぐるコンフリクト」

「主題」を挿入してください

- ・ シリーズで会議・セミナーが行われている場合は、そのシリーズ名も併記してください。

(記入例) 京都大学数理解析研究所研究集会「非可換代数幾何学とその周辺」

「シリーズ名」を挿入してください

- ・ 「展示会が主体となっており、その中に組み込まれている会議」の場合は、展示会の名称の後ろに国際会議に相当する「〇〇会議」、「〇〇セミナー」、「〇〇シンポジウム」などを括弧書きで加筆してください。展示会以外のイベント等も国際会議たる部分を特定するため加筆ください。

(記入例) 第10回〇〇〇展 (〇〇〇会議)

「会議」に相当する部分を挿入してください

● 会議名(英文)

会議の公式ウェブサイトやポスターに掲載されている会議名を省略せずに記入してください。

会議名が日本語名のみで、公式な英語訳がない(ウェブサイトなどが和文のみで、英語ページがない)場合は、日本語名を英語名に直訳してください。その場合、会議名の冒頭に括弧書きで“(直訳)”と加筆し、直訳したことが分かるようにしてください。

● 分野

会議を内容別に、以下の11分野に分類し、該当する番号を選んでください。番号は、国際会議統計調査票のエクセルシート上でプルダウン形式(セル上で自動的に番号が羅列される形式)で選べます。

① 政治・経済・法律

軍縮、防衛、核兵器、大臣会合(分野に関わらず)・国家間会議、特許・知的財産、APEC 関連、アジア開発銀行関連、経済・経営学、安全保障 など

② 科学・技術・自然

物理学、生物学、環境、数学、災害・防災、ISO 関連、農学、エネルギー、技術開発、地質学、IT、ナノテクノロジー、情報、工学、バイオ など

③ 医学

薬学、放射線、移植、健康、受入れ先が医学部となっている国際会議、看護 など

④ 産業

食品、自動車、映像 など

⑤ 芸術・文化・教育

文学、歴史、人材育成、語学、ボーイスカウト、音楽、映画、考古学、心理学など

⑥ 社会

ジェンダー、貧困、社会開発(例:JICA 関連)、社会貢献、人間の安全保障、国際協力など

⑦ 運輸・観光

航空、船舶、輸送、物流、国際観光、地域観光、産業観光など

ただし、観光客誘致を目的とした観光セミナーは、国際会議とみなしません。

⑧ 社交・親善

多国間の親善を目的として開催された会議など

ただし、留学支援セミナーや会議を伴わない国際交流は、国際会議とみなしません。

⑨ 宗教

学問としての宗教がテーマとなっている会議。ただし、ある特定宗教の勧誘のための会議や儀式は、国際会議とみなしません。

(国際会議とみなす例)日本印度学仏教学会第 59 回学術大会

⑩ スポーツ

スポーツ分野に関するセミナーなどがある場合は、国際会議に含めます。

ただし、単なるスポーツの試合のみの大会は、国際会議とみなしません。

⑪ その他

上記の①から⑩のどの分野にも、当てはまらない国際会議

● 開催年・始月・始日・終月・終日

会議のプログラムの日程を記入してください。(会議開催期間の以前もしくは以後に登録受付、ウェルカムレセプション、エクスカージョンなどが設定されている場合は開催日数から除外することとします。)

開催日数は、開始日と終了日より当方で日数を算出いたします。

● 開催会場

会議の開催会場の正式名称を記入してください。複数の会場で開催された場合は、それらを全て記入してください。また、大学で開催された場合は、キャンパス名まで記入してください。

(大学のキャンパスが複数都市にまたがる場合、会議開催地の取り扱いが変わるため)

会場名は略さずフルネーム記入してください。(一例:東大ではなく東京大学〇〇キャンパス)

なお、レセプション、エクスカージョンの会場・場所は記入しないようお願いします。

● 開催都道府県(和文)・開催都道府県(英文)

会議開催都道府県を記入してください。複数の都道府県で開催された場合は、それらを全て記入してください。 記入例：東京都(和文)・Tokyo(英文)

● 開催都市(和文)・開催都市(英文)

会議開催都市を記入してください。複数の都市で開催された場合は、それらを全て記入してください。 記入例1：横浜市(和文)・Yokohama(英文)

記入例2：横浜市、川崎市(和文)・Yokohama, Kawasaki(英文)

※なお、都内の区は具体的な区名ではなく「東京(23区)」と記入してください。

● 参加国・地域数(日本を含む)

日本を含んだ参加国数を記入してください。なお、日本で開催される国際会議に参加するために訪日した海外居住外国人参加者の国・地域数でカウントしてください。(国内参加者扱いとなる留学生や駐日外交使節などの国・地域数は含めないでください。)

記入例：参加国が日本・韓国・中国 → 参加国数：3カ国

【注】香港、マカオ、グアム、サイパン(北マリアナ諸島)、プエルトリコ、ニューカレドニア、タヒチ、グリーンランド、パレスチナ、台湾など(特別行政区、準州、自治領、海外領土、海外準県、独自の政府を持つ地域など)は、世界的に単体でカウントされています。本統計においても1つの参加国数(「地域」として整理)としてみなすことにします。

● 海外居住外国人参加者数

日本で開催される国際会議に参加するために訪日した外国人の人数を記入してください。

会議出席を目的に来日した会議代表、オブザーバー、同伴家族も含みます。但し、プレス関係者、在日外国人(留学生や駐日外交使節を含む)は、カウントしないでください。

次項でも記しているとおり、日本在住の外国人は国内参加者としています。調査にあたっては、お手数ですが、会議主催者に参加した外国人が日本在住でないことを確認のうえ、正確な海外居住外国人参加者数を記入願います。(本事項の確認が不可能な場合は、情報未詳として採用しない扱いになります。精査の対象外となります。)

◆日本在住でない外国人：日本滞在日数が90日以内、在留登録のない外国人

◆海外居住日本人：主として居住している家が日本国外にある日本人(海外居住の日本人は「海外居住外国人」と同じく扱います。)

● 国内参加者数

会議に参加した日本人、日本在住者の人数を記入してください。在日外国人(永住者、日本居住90日以上)の長期滞在者、留学生や駐日外交使節を含む)は、国内参加者数にカウントしてください。

なお、参加者総数は、海外参加者数と国内参加者数より当方で算出します。

また、上記海外居住外国人参加者数や国内参加者数は、「国際会議たる部分」に参加した人数とし、展示会やイベント等が含まれる全体の人数を記入しないでください。

※以上の人数等は、従来通り実際に開催会場に赴き参加した数値をご記入ください。

他方、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、ICCA や UIA ではリモート人数の把握も希望しているため、上記とは別に、以下についても追加記入ください。

● **リモート有無**

従来通りの実際の参加者とは別にリモートによる参加者がいるか否かを先ずこの欄にリモート有なら“○”、無しなら“×”を(いずれか必ず)ご記入ください(空欄不可)。

更に、“○”の場合は、調査票右隣り列の「リモート参加国数」や「リモート外国人参加者数」「リモート国内参加者数」も併せて追加記入ください。

● **リモート参加国数**

オンライン、テレビ会議など名称や参加形態を問わず、従来型の実際の参加ではないネット環境を利用したリモート参加者の国・地域数だけをご記入ください。(上記の従来の欄に内数として含めず、こちらへ「外数」としてリモート部分だけの分を別に記入してください。なお、海外に居住する外国人が対象となります。)

● **リモート外国人参加者数**

上記「リモート参加国数」同様、リモートで参加した外国人数だけを「外数」として記入してください。(海外に居住する外国人が対象)

● **リモート国内参加者数**

上記同様、リモートで参加した国内参加者数だけを「外数」として記入してください。

● **海外主催者名**

国際会議を主催または後援する国際団体名を英語で記入してください。(略称でも可。)

この項目は、UIA 登録の国際機関・国際団体か否か等を判断する上で必要となります。

(例) 「International ○○Organization(国際○○学会)」の下に地域団体(リージョナルオフィス「日本○○学会」がある場合、海外主催者は「International○○Organization」となります。

● **国内受入団体名(和文)・国内受入団体名(英文)**

国際会議の受入先となっている国内団体名を、日本語および英語で記入してください。

この項目は、「UIA が定める国内団体主催の会議」かの判断はもとより国内団体が主催者の場合や受入団体が主催者と異なる場合は実質的に主催者情報としても必要となりますので、主催団体名も併記願います。記入は以下のように団体名をお願いします。

(例) 「○○学会、××機構、△△協会」など

● **展示会の併催の有無**

会議の開催会場で展示会が併催されている場合には“○”を、併設されていない場合には“×”を(いずれか必ず)記入してください(空欄不可)。ポスターセッションも展示会に含めます。この項目は、参加者数の取り扱いを考慮する際に必要となります。

● 会議ウェブサイト(日本語サイト・英語サイト)

受領した国際会議情報を当方で精査する際に必要なため、必ず記載をお願いします。(当方での確認は原則として公開情報に基づくため)記載がない場合、内容確認ができず精査の対象外となる(候補から外れる)可能性が高くなります。会議の公式ウェブサイトがない場合は、会議の開催が確認できる別の URL の記入か、参考資料(会議情報が確認できる資料)の PDF データを、調査票提出時に併せて添付してください。

4. 「2021 年国際会議統計 調査票」の提出方法

- 提出内容 : ① 別紙1「2021 年 担当者・提出件数確認用紙」
② 別紙2「2021 年国際会議統計調査票」(計 2 シート含む)

- 提出期限: 2021 年 11 月 1 日(月)までに(必着)

※提出期限後は受け付けておりません。

「国際会議統計調査」は、下記の「5.国際会議統計調査の流れ」の通り、2 回に分けて実施しています。

1 回目のご提出内容(締切日:2021 年 11 月 1 日)は、「JNTO 国際会議統計」に活用すると共に、世界の国際会議統計(「ICCA 統計」及び「UIA 統計」)の候補となり得ます。但し、2 回目のご提出内容(締切日:2022 年 3 月)は、世界の国際会議統計の対象にはなり得ません。

- 提出方法 : 上記①と②を添付して以下の提出先メールアドレスへご返送ください。

jnto2020@surece.co.jp

(調査票エクセルファイルの各シートの左上「団体名」欄に貴団体の組織名が記入されているか念の為ご確認の上で添付ください。)

5. 国際会議統計調査の流れ

2021 年	
8 月	「国際会議統計調査」について、当方から皆様へご協力を依頼
11 月 1 日	<u>国際会議情報の提出締切</u> (第 1 回締切)
11 月～	ICCA 及び UIA 用の候補たる国際会議情報を抽出・精査・提出
2022 年	
1 月下旬～	第 2 回調査依頼
3 月中旬	<u>国際会議情報の追加・修正の提出締切</u> (第 2 回締切) 第 1 回調査で提出できなかった国際会議情報を提出 (※締切後の追加提出等は一切受け付けておりません。)

3月下旬～	国際会議情報を集約・突合・精査
5月～6月	ICCA 統計の発表(2021年分)、UIA 統計の発表(2021年分)
下半期	JNTO 国際会議統計の発表(2021年分)

過去の統計は、JNTO ウェブサイト(或いは、毎年別送している統計集)でご覧いただけます。

(お問い合わせ先)

※本件に係る全ての連絡は以下の委託社へ(お願い)

株式会社サーベイリサーチセンター

インバウンドリサーチ課 (担当：宮本、園木)

メールアドレス：jnto2020@surece.co.jp

電話番号：03-3802-6775

日本政府観光局 (JNTO)

企画総室 (国際会議統計)

担当：子安、山田、中杉)

survey@jnto.go.jp

TEL 03-5369-6020